

2018年度 パフォーマンス向上会議不適合報告情報(2018年10月 3日(水)分)

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年10月 3日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 6 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	2号機	主蒸気系主蒸気管トンネル室ブローアウトパネルにおいて、ひびにより微少な空気の吸い込みが認められたため、当該パネルを点検・修理。 なお、原子炉建屋外気差圧に異常がないこと(負圧維持)を確認し、原子炉建屋の気密性について問題なし。	GⅢ	
2	3号機	非常用ディーゼル発電設備(A)排気ガス温度検出器(No. 6)において、シリンダーの排気温度に指示値不良(実温一定に対し、指示値に変動あり)が認められたため、当該温度検出器を点検・修理。 なお、温度検出器単体の不良であり、非常用ディーゼル発電設備の運転に影響なし。	GⅢ	
3	4号機	換気空調系中央制御室冷凍機(B)圧縮機(B-2)入口逆止弁継手部において、微量な油滲み(滴下なし)が認められたため、当該継手部を点検・修理。 なお、補修テープにて応急処置を実施。	GⅢ	
4	1・2号廃棄物処理設備	プロセス計算機情報処理装置監視装置(1)モニターにおいて、動作不良(電源スイッチを入れても動作せず)が認められたため、当該モニターを点検・修理。	GⅢ	
5	補助ボイラー	補助ボイラー中和処理装置水素イオン濃度検出器において、出力値不良(標準液に浸けても出力値が変動せず)が認められたため、当該濃度検出器を点検・修理。	GⅢ	
6	その他	高圧電源車(1台)において、北海道電力支援により貸し出し中であることから10月の月例点検を実施できないことが認められたため、11月に月例点検を実施。 なお、当該電源車は、予備であり当所の必要台数に問題はない。	対象外	